



えんじゅ

春日市立春日小学校
校長室便り No.15
令和2年2月7日
文責：校長 福島

かすがっ子の好循環



先日は、全校児童を対象とした眠育のことを書きましたが、あの話には続きがあります。

指導していただいた筑紫女学園大学の西先生に、かすがっ子のことを大変褒めていただきました。「今までたくさんの学校で授業をしましたが、こんな学校はありませんでした。授業をしていてとても楽しかったです。素敵な子供たちですね。」私もとてもうれしかったです。

「子供たちの話を真剣に聞く態度がいい」「返事や反応が必ず返ってくる」「自分の意見を挙げて進んで発言しようとする子が多く、指名すると堂々と発言できる」そんな点に感動されたということでした。このような点は、学校文化として根付いていると私も感じます。

今週月曜日のテレビ朝会で、私はこのことを子供たちに伝え、こんな話を付け加えました。

「素晴らしい姿をつくっているのは、6年生がお手本になっているからです。その6年生にあこがれて5年生が頑張り、立派な5年生になろうと今4年生が頑張っている。そんな4年生を見て3年生が育ち、3年生を見て2年生も頑張る。その2年生に追いつこうと1年生も1年間でしっかり成長しました。昨年7月に6年生の教室に行くと、七夕の短冊に『史上最高の6年生になる』と書かれていました。リーダーとして頑張ってきた6年生の教室に届くようにみんなで拍手をしましょう。(拍手)」

6年生の廊下には、写真のような掲示物があります。実行委員会の子供たちが自主的に考え、みんながつながって卒業するために、日常で感じた良さを貼りためていくそうです。

今朝全校を回っていると、音楽室で1年生が2月28日のお別れ集会で6年生に送る歌を、心を込めて練習していました。「ああ、つながっているな。」とてもあたたかい気持ちになりました。どの学年の子供たちも、一生懸命伸びようとしていることをこの時期、特に感じます。

6年生が登校するのはあと25日。きっといい卒業式になります。